

事務事業マネジメントシート(令和 3年度実績と令和 4年度計画)

令和 4年12月26日更新

事務事業名		埋火葬許可事務事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康		所属部	市民生活部	課長名	田中 政吉
	施策	2	行政改革の推進		所属課	市民課	担当者名	高橋 浩史
	施策の柱	7	市民サービスの向上		所属班	戸籍住民班	(内線)	1113
予算科目	会計一般	款 2	項 3	目 1	事業連番 11101	根拠法令	墓地、埋葬等に関する法律	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 3年度で終了 <input type="checkbox"/> 3年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	墓地、納骨又は火葬場の管理及び埋葬等が、国民の宗教的感情に適合し、且つ公衆衛生その他公共の福祉の見地から、支障なく行われることを目的として、昭和23年5月31日に墓地、埋葬等に関する法律が制定された。市区町村長が法律に基づき、埋火葬許可証を交付する事業である。
【業務の流れ】	①死亡(死産)届書の受理 ②死亡(死産)届書の内容審査 ③埋火葬許可申請書作成 ④埋火葬許可証交付
【主な予算費目】	①需用費(印刷製本費)
【意見や要望】	特に意見や要望は寄せられていない。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 3年度実績(3年度に行った主な活動)(DO)	埋火葬許可証の発行を適正に行った。	4年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
		前年度と同じ
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ア:死亡件数	イ	死亡届の増加により、埋火葬許可証の発行件数が増えたため印刷製本費の増
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	本市に住民登録している人、外国人登録をしている人、本籍を有する人など。	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位) 件
		→ア:申請件数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	死亡届や死産届に伴う埋葬や火葬について、許可証の交付を受けることができる。	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位) %
		→ア:埋火葬許可証を適正に処理した割合
*③成果指標設定の理由と 4年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
死亡届や死産届に伴う埋葬や火葬について、許可証の交付を適正に受けることで住民サービスの向上に繋がるため。		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	31年度実績(決算)	2年度実績(決算)	3年度目標(当初予算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	5年度予定	6年度見込	7年度見込	
① 活動指標	ア 件	イ	482	584	460	613	460	460	460	460	
② 対象指標	ア 件	イ	482	500	460	528	460	460	460	460	
③ 成果指標	ア %	イ	100	100	100	100	100	100	100	100	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円		18	18	17	18			
		地方債	千円								
		その他	千円	30					30	30	
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	5			1	4	5	5	5
		(A) 事業費計	千円	35	18	18	18	22	35	35	35
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	5	4	4	3	4	4	4	4
延べ業務時間	時間	136	136	130	110	130	130	130	130		
(B) 人件費計	千円	538	536	517	430	517	517	517	517		
トータルコスト(A)+(B)	千円	573	554	535	448	539	552	552	552		

事務事業名	埋火葬許可事務事業	所属部	市民生活部	所属課	市民課
-------	-----------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は3年度の事後評価、ただし複数年度事業は3年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 3年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 4年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 法的事務であり、適正に許可証を発行することが責務であるため。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 法的事務であり、適正に許可証を発行することが責務であるため。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 法的事務を実施するための経費であり、削減できない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 適正に処理するための最低限の費用であり、今以上の削減は住民サービスの低下に繋がるため、削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 公平・公正に行っている。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 法的事務のため移行できない。

3 評価結果の総括 (CHECK)

死亡届出や死産届の受領後、埋火葬許可証の交付を適正に行っている。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						